

## 「ダンガラ郡アクス地区サフォバフシュ村第10学校改修計画」引渡し式

1月31日、相木大使は、首都ドゥシャンベ市の南東約110kmに位置するハトロン州ダンガラ郡アクス地区サフォバフシュ村を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」（供与額：123,682米ドル）で実施された同村第10学校改修プロジェクトの引渡し式に出席しました。

相木大使は引渡し式の挨拶で、教育分野は日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野であり、今回改修された学校が適切な維持・管理の下で長く利用され、同校舎で学ぶ子どもたちが将来、ダンガラ郡、そしてタジキスタンの発展に貢献することを期待する旨述べました。これに対して、ダヴロン・ベグムラドゾダ ダンガラ副郡長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計453件、総額約3,740万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

